

鹿兒島縣師範學校長 野島藤太郎先生著

鹿兒島藩の風教

一名健兒の教育

全一冊 定價金廿五錢 郵稅四錢

●本書は鹿兒島縣師範學校長野島藤太郎先生が鹿兒島藩に於ける風教の梗概を叙せられたるものなり。島津家が七百年來西方の雄鎮たりし原因を知らんとせらるゝ諸君鹿兒島藩より維新の太祖臣の輩出せる理由を知らんとせらるゝ諸君及び未來の大國民を養成せんとせらるゝ教育者並に父兄諸君は必ず本書を一讀せられんことを望む

家庭日用理科あるべ

全二冊 定價金卅五錢 郵稅金六錢

●本書は現時國民の缺點なり指摘せらるゝ理科的知識の缺乏を補はるべしとて井田先生が該博なる識見を以て著はされたるものにして日常の事物に當つて生ずる疑惑を永解せんとする少年子女及家政整理の責任に當る良妻淑女の必ず一讀せざるべからざる長篇なり

東京市京橋區銀座四丁目十五番地

發兌元

全 晃山堂書房

元々堂書房

賣捌所 東京京橋區弓町十二番地 松邑三松堂
關西大賣捌 大阪市東區備後町 吉岡實文館

フレイベル會規則

- 第一條 本會ハ幼児保育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハフレイベル會ト稱シ東京ニ置ク
- 第三條 會員タルヲシテハ本會ノ幼穉園ニ關係アルモノ又ハ幼児保育ニ篤志ナルモノニシテ會員ノ紹介ヲ經ヘシ
- 第四條 會員ハ本會ノ經費トシテ一ヶ月金拾錢ヲ納出スヘシ
- 第五條 名聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ利益アリト認ムルモノハ特ニ請ヒテ會員トナスコトアルヘシ
- 第六條 本會ノ目的ヲ達セシメテ左ノ事業ヲ行フ
 - 一 總會 毎年四月二十一日之至開キ保育ニ關スル演說、談話、保育委員會功成成績物展覽會、會務ノ報告、幹事ノ選舉等ヲ行フ
 - 一 分會 毎月一、二月、六月、十月、十二月ノ第一土曜日之ヲ開キ保育ニ關スル演說、談話、協賛、演藝等ヲ行フ
 - 一 組合會 會員中特ニ研究事項ヲ研究シテトスル者ヲ以テ組織ス
 - 一 雜誌發行 毎月二回雜誌ヲ發行シ之ヲ會員ニ配布ス
 - 一 前項ノ外本會ノ目的ニ裨益アリト認ムル事業ヲ行フ
- 第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 一 會長 一人 會務ヲ總理ス
 - 一 幹事 十人 會長ヲ輔佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 一 評議員 若干人 重要ナル事件ニ關シ會長ヲ諮詢ス
 - 一 第八條 會長ハ役員中ヨリ推選スルモノトス
 - 一 第九條 主幹ハ會長ノ補選トス
 - 一 第十條 幹事ハ會員中互選トシ其任期ヲ二年トス
 - 一 第十一條 評議員ハ會長ノ補選トス
 - 一 第十二條 本會ハ必要ニ應ジテ役員ヲ選スルモノトス
 - 一 第十三條 此規則ハ會員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルモノトシ之ヲ變更スルニハ同数ヲ得ルモノトス

大日本割烹學會内石井式割烹教場廣告

女子手藝學科增加

○割烹教授法ニ付キ調査ノ所大キニ其必用ヲ感ジタルニ由テ六月一日ヨリ割烹教場家庭料理日曜授業部へ左ノ學科増加ス

○花結

ひもむすび
とむいへり

○綵花

ざうくわ
とむいふ

○識絹

つまみざい
とむいへり

以上日曜日午前授業
業割烹全科午後授

業○本科割烹増加手藝ニテ授業一ヶ月謝金壹圓○増加手藝ノミ習學一ヶ月謝金五拾錢日曜午前授業○家庭料理部金曜授業部へ實用西洋料理部(水曜授業)ヲ増加ス○本科及増加兼修ニテ授業料一ヶ月謝金壹圓○増加西洋料理部ノミ習學一ヶ月謝金五拾錢第一第三水曜午後授業○以上ノ家庭料理部實用西洋料理部ノ外ニ
特 日 用 惣 菜 料 理 部 アリ見割烹教授法研究科トシテ又割烹教員養成科トシテ設置スル所ナラシメ日曜日午後授業ス

女子 夏期講習會

會員募集

乘ル八月二日ヨリ十日開京都市舊鹽津女學校(御幸町二條下ノ西側)ニ於テ本會第三回女子作法夏期講習會及第二回女子割烹夏期講習會ヲ開會ス

一 學科 ○日用實用法 ○高等女學校教授課程(作法割烹共) ○簡易婚禮式

一 講師 本邦料理師範八世 森井治兵衛 宮中式臣民式作法及割烹講師 石井泰次郎

○入會希望者ハ七月二十五日迄ニ名簿ニ講習料ヲ添テ本會事務所又ハ京都市御幸町二條下ノ西側鹽津二氏氏宛ニテ申込ムベシ

○講習時服及講習料其他詳細規則書アリ入用ノ方ハ郵券封入申越サレタシ

明治三十七年六月

東京市京橋區
錦糸町千一番地

同 所

大日本禮節學會 大日本割烹學會

教 授 界

每 月 一 回 (廿 日) 發 行

特 色

空理空論を避け實際的なる本會の主義を重し
 精確に初等教育の實際問題を研鑽討究したる
 の結果を公表して常に斯道改善の鞭達者とな
 り將た教材の供給者として着實穩健而も斯界
 の燈明台を以て自ら任ずるものなれば内容の
 精選材料の撰擇は勿論殊に此際良好なる戰時
 教材及日露戰爭記を續載し以て讀者が一方に
 教授の資を仰ぐと全時に又一方に時局の大
 局に放眼し得らるゝ便を與へ其他本學期より地
 理歴史諸學科の教授資料を續載供給し又府下
 學校參觀記をも續載して之が批判を試みる等
 實に記事の豊富趣味の清新なる優に斯道諸君
 の好師友にして又本邦唯一の斯界の一大機關
 雜誌なり

● 本誌の内容

● 論說 ● 教授及訓練 ● 教案 ● 實業科 ● 學校及家庭
 ● 體育及音樂 ● 實驗研究 ● 讀者の文苑 ● 學術 ● 雜
 錄 ● 日露戰爭記 ● 戰時教材 ● 彙報

● 本誌の口繪

茨城縣重要物産繪圖
 (標本代用極彩色每野一府縣宛)

● 第一卷第六號 (六月) 發行

● 會 費

● 一册金拾三錢 ● 郵稅一錢五厘 ● 三ヶ月分金四拾貳錢 ● 六ヶ月分金八拾錢 ● 十二ヶ月分金壹圓五十錢 ● 見本は一錢切手拾三枚 ● 會員に特待法あり

後付三

會 成 研

東 京 麴 町 區 飯 田 町 四 目 二 番 地
 (實 業 主 なる 事 業 肆 立 び あり)

所 行 發

會 員 募 集

會員募集の趣意

衛生の源は家庭にあり
家庭を司るものは婦人
なり、故に家庭の衛生
は婦人の研究すべき所
なり、本會は全國婦人
の間に衛生の必要を自
覺せしめ衛生をして實
行的のものたらしめ以
て家庭の健康を増進し
國家に酬ゆる所あらむ
とす今其規模を擴張
し機關雜誌を改良し大
に會員を募て遍ねく幸
福を頒たむとす同好の
諸姉は入會手續により
て至急御申込われ

明治二十年創立 (本會支會新潟外六ヶ所)

總裁 東伏見宮依仁親王妃周子殿下

會長 侯爵夫人鍋島榮子 副會長濱尾作子

幹事 鳩山春子 羽田三緒子 岡田徳子 高木かう子

山本多穂子 松平芳子 三浦教子 (イロハ) 應評議員松平伯爵
夫人外二十餘名 講師賛成員博士學士等百數十名

機關雜誌 婦人衛生雜誌 (毎月二十日一回發行) (無料を以て
會員に頒つ)

目錄 講演 朝野名醫大家の所説 ● 寄書 ● 各支會講演 ● 衛
生雜誌 ● 質疑應答 ● 看病法 ● 衛生時事 ● 抄録 ● 衛生訓 ● 救
急處置 ● 内外實用料理法 ● 中外彙報 ● 會況 ● 會報等

入會手續 入會の節は住所氏名及會員の別 (通常、特別、終
身) 等を明記し三ヶ月以上の會費前納小爲替を以て東京市

麹町區飯田橋通受取所振出にて申込るべし但會費は通常會
員一ヶ月十五錢特別三十錢以上終身一時出金廿五圓とす男

子にして本會の趣意を賛成するものは賛成員とす會費前に
同し

集會 本會は毎月集會を開き衛生上の講演を會員及其同
伴人に聽講せしむ又毎年總會及懇親會を開き會員相互の親
睦を圖る

東京市麹町區飯田町六丁目三番地
私立 大日本婦人衛生會

來出版再れ切賣ち忽版初

長校學範 二第縣知愛
閣校生先吉政鳥小
論教校學範師山歌和
曲作生先治來出森近

一言致文 日本唱歌
○美木全四冊 正價各金八錢
郵稅各金貳錢



男女之研究

本書科學的研究に基き男女の起源及發達男女生殖上の差異
は諸現象の性質及び生活の差異發生及發育の人類發展の地
と關係等苟も吾人類が相偕に生活する異性の同類を空前の新著
されば、世に知らるに須要なる事項を明快に解説したる眞に
の青年諸士教育者及び父母たるものは論な男女如何に本書が
するところの多きは言を要せず。大方の諸彦幸に一讀以て其眞價を諒せよ。

帝國理科大學 教授 坪井正五郎先生
宮崎縣師範學校校長 遠藤正先生
福岡縣中學校教諭 大鳥居奔三君
修猷道教諭 澤田順次郎君
宮崎縣師範學校教諭 大鳥居奔三君共著

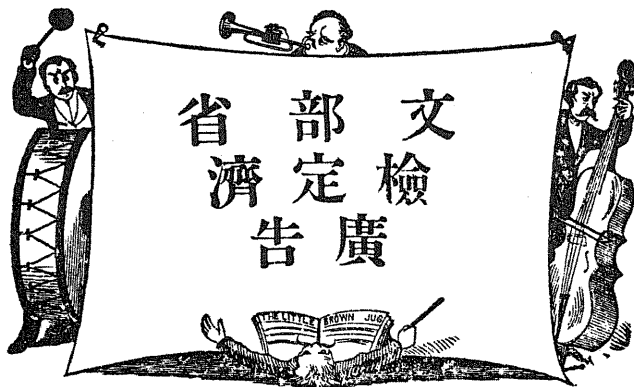
- 人類界之現象 四版 洋裝全一冊 小包郵稅十錢
- 天界之現象 四版 洋裝全一冊 小包郵稅十錢
- 自然物之利用 二版 空中及水中篇 正價金七十錢 郵稅金十錢
- 一日之化學界 二版 洋裝全一冊 正價金六十錢 郵稅金八錢

寫眞版 插入
美麗裝釘全一冊
正價 金五十錢
郵稅 金六錢

發行所 東京市本區三軒橋九番 風光館書店

大賣所 東京市本區三軒橋九番 風光館書店

明治三十四年二月廿八日 第三種郵便物許可



文部省
檢定部
廣告

○空前の唱歌良教科書!
○檢定済生徒用唱歌教科書の嚆矢
○文部省檢定済

唱歌教科書

郵税一册に就き金四錢

教師用	第一卷定價金三十錢
第二卷定價金三十錢	
第三卷定價金三十錢	
第四卷定價金三十錢	
生徒用	第一卷定價金十五錢
第二卷定價金十五錢	
第三卷定價金十五錢	
第四卷定價金十五錢	
全四册	定價金十八錢

發行以來唯一の完全なる唱歌教科書となして非常なる大喝采を博し僅々數月間に三版發行の盛運に會したる本書は今其生徒用教師用共に文部省の檢定を経て更らに其眞價を發揮するの榮を得たり從來文部省檢定済の歌集は悉く教師用即ち教師の參考書としのみ許せられたるに眞の教科書たるもの檢定を経たるものも實に本書か如何なる科の本か最完全なる良書たるかを知らるべし

洋琴 金參百圓以上 各種

ヴワイオリン 各種

鈴木製 金五圓以上五拾圓迄 各種
舶來品 八圓以上百五拾圓迄 各種

樂隊用樂器

大太鼓金貳拾圓以上小太鼓八圓半以上シンバル金四圓以上其他バス、バリトン、テナードアルト、ホルネット、トロンボン等金貳拾圓以上百六拾圓迄

鼓隊用樂器

太鼓金貳拾圓以上 橫笛金壹圓以上
○學校用一組拾參圓

手風琴 金貳圓五拾錢以上 參拾圓迄 各種

保險 山葉風琴 定價金拾六圓五拾錢 以上金貳百圓迄

○右の外兩用風琴、吹奏琴、ハーモニカ、フラジヨレット其他各樂器並に和洋音樂附屬品各種

ピアノ、調律修繕

オルガン、御券貳錢 郵送附目錄進呈